

# 下館ロータリークラブ会報



SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT 2010～2011

RI会長 レイ・クリンギンスミス RI テーマ 地域を育み、大陸をつなぐ

/Building Communities—Bridging Continents

**～東日本大震災の経済  
に及ぼす影響について～**

例会日時/水曜日 12:30～13:30  
 ※欠席の場合は午前 10 時までに連絡願います  
 ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp/>

### 本日のプログラム

お祝い事・フリー

### 次週のプログラム

6月4日 地区協議会 会場；アクロス  
分科会 ダイヤモンド・つたや他

2011年6月1日 第2211号 (2011/5/25 例会報告)

## 会長挨拶 小林一彦 会長

2010～11年度RI第2820地区第5分区第3回会長幹事会が5月20日(金)筑西市内「けやき」にて開催されました。藤木ガバナー補佐より、最後の会長幹事会になります。一年間大変お世話になりましたとの感謝の挨拶があり、その後今後の例会訪問についての日程調整の説明があり、当クラブには6月22日(水)に訪問することになりました。そのあと今年度のG補佐の活動報告と一年間の活動資金収支報告をなされ、また第5分区における東日本大震災後の取り組みについて説明があり、福島原発からの避難民に対する支援として要望のあった洗濯機5台を寄贈し、また筑西市民病院について3階以上は取り壊し2階を屋根代わりにして1階で診察や手術が出来るよう改築するための資金を何とか援助してあげたいという気持ちでガバナー事務所と交渉し1クラブ20万円、7クラブで140万円を義捐金として寄付できるようになったとの報告がありました。

先週ご案内いたしました日立化成・下館事業所管理センター長の古川耕一さんの推薦入会の件ですが、発表後7日が経過しましたがどなた様からも異議の申し立てがありませんので、早速入会の手続きをさせていただきます。入会の予定は6月1日(水)です。

## 幹事報告 鈴木光則 幹事

1. 会報受理 水戸 RC
2. 会報受理 水戸西 RC

## 出席報告 司代隆之 委員長

| 例会日  | 会員数 | 出席 | 欠席 | 病欠 | 免除 |
|------|-----|----|----|----|----|
| 5/25 | 45  | 32 | 13 | 0  | 5  |

## メモアップ

- ・5月12日 下館ローターアクトクラブ 溝口明洋
- ・5月19日 下館ローターアクトクラブ 溝口明洋・小島ゆり・押田浩

## スマイルBOX 永井啓一 委員長

小林 一彦 筑波銀行経済調査室長熊坂さん、本日は大変お忙しい中、卓話ありがとうございます。宜敷くお願い致します。白井さん久しぶりです。今日の日を待っていました。今後ともこの調子で行きましょう。

鈴木 光則 熊坂室長様、本日の卓話ありがとうございます。

加藤 昌美 筑波銀行熊坂室長さんようこそおい出下さいました。

新井 和雄 熊坂室長の卓話を記念して。

司代 隆之 筑波銀行経済調査室長熊坂敏彦さんの卓話楽しみにしております。宜しくお願いします。

百目鬼 博行 筑波銀行熊坂室長、卓話宜しくお願いいたします。白井さんお久しぶりです。やっぱり居るべき人が居ないと。

関谷 徹 熊坂さんの卓話楽しみにしています。

溝口 明洋 筑波銀行経済調査室熊坂室長様、ようこそおいで下さいました。卓話楽しみにしています。

神山 芳子 本日の卓話楽しみに致しております。どうぞ宜しくお願い致します。

篠原 智 本日の卓話について、当行経済調査室の熊坂が担当させていただきます。宜しくお願い申し上げます。

永井 啓一 筑波銀行熊坂室長、卓話よろしくお願ひします。

感謝と奉仕 永盛武・新井利平

本日の合計 14,000 円 / 累計 1,500,000 円

## 卓話 「東日本大震災からの復興に向けて」

筑波銀行 総合企画部 経済調査室長 熊坂敏彦様

### 1. 東日本大震災の規模と茨城県の被害額

- ① 阪神淡路大震災との比較
- ② 直接的被害額推定
- ③ 茨城県の被害額の大きさとその要因

### 2. 日本経済への影響

- ① 間接的な被害（フローへの影響）
- ② 復興投資（民間設備投資・公共投資）
- ③ 2011 年度上期はマイナス成長、下期は急回復

### 3. 復興プランの基本的な視点といくつかの具体策について

- ① バブル経済崩壊後 20 年にわたって続いたデフレ不況・「失われた 20 年」からの脱出の契機とする
- ② 国のかたち
- ③ エネルギー戦略の見直し：脱原子力への転進
- ④ 災害復興を契機とした技術革新
- ⑤ 復興資金供給体制の補完

